R8

京都府教育委員会認可　通信教育
京都府立朱雀高等学校 通信制課程

通信教育実施計画

【基本情報】

教　科	公民科	科目	公共	【 〇 】必修【　】選択	単位数	2
担当者	岡田 さとみ	川口 敬二	中塚 雄介			
使用教科書	公共 改訂版　東京法令出版					
使用副教材						
スクーリング(S) 義務出席時間数	2	レポート(R)必要提出本数	6	テスト(T)必要合格回数	2	
科目の内容 目標等	現代の倫理、社会、文化、政治、法、経済、国際関係などに関わる内容を幅広く学びます。これらの基礎的な知識を習得・活用することを通じて、現代の諸課題の解決に向けて思考・判断し、解決策について表現する力や、主体的に社会に参画する態度を養います。					

【年間指導計画(1) 科目スクーリング】

a・b 講座			c・d 講座			e 講座			スクーリング内容	R番号	テスト
月日	曜	時限	月日	曜	時限	月日	曜	時限			
6/7	日	3	5/13	水	4	6/7	日	4	社会と個人のあり方の探究	R1	R1～R3 合格で7月以降テスト1受験可能
7/5	日	3	6/7	日	4	6/8	月	4	日本国憲法の基本原理	R2	
9/13	日	2	7/5	日	5	7/19	日	1	日本の政治機構、選挙と政治参加	R3	
10/26	月	1	9/13	日	3	9/13	日	6	経済活動のしくみ	R4	R4～R6 合格で12 月以降テスト2受験可能
11/15	日	6	11/15	日	6	11/15	日	6	財政と金融、戦後の日本経済など	R5	
1/10	日	4	1/10	日	4	1/10	日	4	国際政治と国際経済、地球規模の諸課題	R6	

【年間指導計画(2) 教科スクーリング】

月日	曜	時限	スクーリング内容	対象	場所
5/24	日	1、2	個別指導	全講座対象	朱雀高
6/21	日	1、2	個別指導	全講座対象	朱雀高
6/21	日	5、6	個別指導	全講座対象	京都八幡高
6/29	月	1	個別指導	全講座対象	朱雀高
7/5	日	6	個別指導	全講座対象	朱雀高
8/30	日	3、4	個別指導	全講座対象	朱雀高
9/27	日	1、2	個別指導	全講座対象	京都八幡高
9/27	日	3	個別指導	全講座対象	朱雀高
11/11	水	1	個別指導	全講座対象	朱雀高
11/29	日	1、2	個別指導	全講座対象	朱雀高
11/29	日	3、4	個別指導	全講座対象	京都八幡高
1/18	月	1	個別指導	全講座対象	朱雀高
1/24	日	3、4	個別指導	全講座対象	朱雀高
1/24	日	5、6	個別指導	全講座対象	京都八幡高

【レポート提出締切･留意事項】

	月日	曜	時間	対象レポート	留意事項
一次	12/2	水	21:00	レポート1、2	内容不備→受付不可→未提出扱い 内容不十分→再提出不可
最終	2/3	水	21:00	レポート3、4、5、6	

【連絡事項】

【学習の成果に係る評価規準】

	主体的に学習に取り組む態度	知識・技能	思考・判断・表現
A	・年間を通じて、主体的・計画的かつ熱心に添削課題に取り組み、前向きな姿勢及び努力が十分に認められた。 ・面接指導に積極的かつ計画的に出席し、高い学習意欲がみられた。	・添削課題の学習過程及び考査結果により、公共の各単元の目標に沿った、知識・技能が十分に定着し、日常のさまざまな場面で活用することができた。	・添削課題の学習過程、考査結果により、知識・技能を応用して、発展的に思考・判断し、表現することができた。
B	・年間を通じて、主体的に添削課題に前向きに取り組み、その努力が認められた。 ・面接指導に意欲的に出席することができた。	・添削課題の学習過程及び考査結果により、公共の各単元の目標に沿った、知識・技能がある程度定着し、日常の場面で活用することができた。	・添削課題の学習過程、考査結果により、知識・技能を応用して、思考・判断し、表現することができた。
C	・添削課題の取り組みでは、主体性、計画性に課題があり指導を要したが、その努力は認められた。 ・面接指導の義務出席時間数には到達できたが、計画性には課題がみられた。	・添削課題の学習過程及び考査結果により、公共の各単元の目標に沿った、知識・技能の定着には課題がみられるが、努力は認められた。	・添削課題の学習過程、考査結果により、知識・技能を応用に課題が見られ、思考・判断し、表現するためには、さらなる努力を要した。

添削課題（レポート）の評価規準

・レポートの評価は５段階とします。
・レポートの未記入等の不備、誤答が多い場合は評価「１」とし、不合格、再提出となります。
・レポートの未記入部分が多いなど、著しく不備な場合は、受付抹消、再提出となります。

考査（テスト）の評価規準

・３０点未満は再考査となります。

面接指導（スクーリング）

・５分以上の遅刻・早退は出席になりません。
・義務出席時間以上に出席してもかまいません。

R8

京都府教育委員会認可　通信教育
京都府立朱雀高等学校 通信制課程

通信教育実施計画

【基本情報】

教　　科	公民科	科目	倫理　【　】必修【 〇 】選択	単位数	2
担　当　者	中塚　雄介				
使用教科書	高等学校 倫理 第一学習社				
使用副教材	倫理用語集 山川出版社				
スクーリング(S) 義務出席時間数	2	レポート(R)必要提出本数	6	テスト(T)必要合格回数	2
科目の内容 目標等	科目「公共」の倫理分野をさらに詳しく学びます。古今東西の幅広い思想を手掛かりに多面的・多角的に考察することを通じて、現代社会における人間としての在り方・生き方への思索を深めるとともに、倫理的諸課題の解決に向けた態度を養います。				

【年間指導計画(1) 科目スクーリング】

講座全員			スクーリング内容	R 番号	テスト
月日	曜	時限			
4/27	月	4	青年期の課題と自己形成　思想の源流から学ぶ①	R1	R1～R3 合格で7月以降テスト1 受験可能
6/7	日	5	思想の源流から学ぶ②	R2	
10/7	水	3	日本の思想から学ぶ	R3	
10/14	水	1	近代西洋の思想から学ぶ①	R4	R4～R6 合格で12 月以降テスト2 受験可能
11/15	日	2	近代西洋の思想から学ぶ②	R5	
1/18	月	4	現代の思想から学ぶ　現代の諸課題と倫理	R6	

【年間指導計画(2) 教科スクーリング】

月日	曜	時限	スクーリング内容	対 象	場 所
5/24	日	1、2	個別指導	全講座対象	朱雀高
6/21	日	1、2	個別指導	全講座対象	朱雀高
6/21	日	5、6	個別指導	全講座対象	京都八幡高
6/29	月	1	個別指導	全講座対象	朱雀高
7/5	日	6	個別指導	全講座対象	朱雀高
8/30	日	3、4	個別指導	全講座対象	朱雀高
9/27	日	1、2	個別指導	全講座対象	京都八幡高
9/27	日	3	個別指導	全講座対象	朱雀高
11/11	水	1	個別指導	全講座対象	朱雀高
11/29	日	1、2	個別指導	全講座対象	朱雀高
11/29	日	3、4	個別指導	全講座対象	京都八幡高
1/18	月	1	個別指導	全講座対象	朱雀高
1/24	日	3、4	個別指導	全講座対象	朱雀高
1/24	日	5、6	個別指導	全講座対象	京都八幡高
1/31	日	3、4	個別指導	全講座対象	朱雀高

【レポート提出締切･留意事項】

	月日	曜	時間	対象レポート	留意事項
一次	12/2	水	21:00	レポート1、2	内容不備→受付不可→未提出扱い 内容不十分→再提出不可
最終	2/3	水	21:00	レポート3、4、5、6	

【連絡事項】

【学習の成果に係る評価規準】　　　掲載案

	主体的に学習に取り組む態度	知識・技能	思考・判断・表現
A	・年間を通じて、主体的・計画的かつ熱心に添削課題に取り組み、前向きな姿勢及び努力が十分に認められた。 ・面接指導に積極的かつ計画的に出席し、高い学習意欲がみられた。	・添削課題の学習過程及び考査結果において、倫理の各単元の目標に沿った、知識・技能が十分に定着し、日常のさまざまな場面で活用することができた。	・添削課題の学習過程及び考査結果において、習得した知識・技能を応用して、発展的に思考・判断し、表現することができた。
B	・年間を通じて、主体的に添削課題に前向きに取り組み、その努力が認められた。 ・面接指導に意欲的に出席することができた。	・添削課題の学習過程及び考査結果において、倫理の各単元の目標に沿った、知識・技能がある程度定着し、日常の場面で活用することができた。	・添削課題の学習過程及び考査結果において、習得した知識・技能を応用して、思考・判断し、表現することができた。
C	・添削課題の取り組みでは、主体性、計画性に課題があり指導を要したが、その努力は認められた。 ・面接指導の義務出席時間数には到達できたが、計画性には課題がみられた。	・添削課題の学習過程及び考査結果において、倫理の各単元の目標に沿った、知識・技能の定着には課題がみられるが、努力は認められた。	・添削課題の学習過程及び考査結果において、習得した知識・技能の応用に課題が見られ、思考・判断し、表現するためには、さらなる努力を要した。

添削課題（レポート）の評価規準

・レポートの評価は５段階とします。
・レポートの未記入等の不備、誤答が多い場合は評価「１」とし、不合格、再提出となります。
・レポートの未記入部分が多いなど、著しく不備な場合は、受付抹消、再提出となります。

考査（テスト）の評価規準

・３０点未満は再考査となります。

面接指導（スクーリング）

・５分以上の遅刻・早退は出席になりません。
・義務出席時間以上に出席してもかまいません。

R8

京都府教育委員会認可　通信教育
京都府立朱雀高等学校 通信制課程

通信教育実施計画

【基本情報】

教　　科	公民科	科目	政治経済　【　】必修 【○】選択	単位数	2
担　当　者	川口 敬二				
使用教科書	政治経済 東京書籍				
使用副教材	政治経済用語集 山川出版社				
スクーリング(S) 義務出席時間数	2	レポート(R)必要提出本数	6	テスト(T)必要合格回数	2
科目の内容 目標等	科目「公共」の政治経済分野をさらに詳しく学びます。現実社会の諸課題に対し多面的・多角的な考察力、理解し、解決に向けた思考力を涵養します。				

【年間指導計画(1) 科目スクーリング】

講座全員			スクーリング内容	R 番号	テスト
月日	曜	時限			
5/10	日	1	民主政治の基本原理	R1	R1~R3 合格で 7月以降 テスト1 受験能
6/8	月	4	日本国憲法の基本原理、日本の政治機構	R2	
9/7	月	2	現代政治の特質と課題、現代の資本主義経済	R3	
10/21	水	4	現代経済のしくみ、雇用と郎等問題	R4	R4~R6 合格で 12 月以降 テスト2 受験可能
11/30	月	1	社会保障、国際政治の特質	R5	
1/10	日	3	国民経済と国際経済、世界経済の現状と課題	R6	

【年間指導計画(2) 教科スクーリング】

月日	曜	時限	スクーリング内容	対　象	場　所
5/24	日	1、2	個別指導	全講座対象	朱雀高
6/21	日	1、2	個別指導	全講座対象	朱雀高
6/21	日	5、6	個別指導	全講座対象	京都八幡高
6/29	月	1	個別指導	全講座対象	朱雀高
7/5	日	6	個別指導	全講座対象	朱雀高
8/30	日	3、4	個別指導	全講座対象	朱雀高
9/27	日	1、2	個別指導	全講座対象	京都八幡高
9/27	日	3	個別指導	全講座対象	朱雀高
11/11	水	1	個別指導	全講座対象	朱雀高
11/29	日	1、2	個別指導	全講座対象	朱雀高
11/29	日	3、4	個別指導	全講座対象	京都八幡高
1/18	月	1	個別指導	全講座対象	朱雀高
1/24	日	3、4	個別指導	全講座対象	朱雀高
1/24	日	5、6	個別指導	全講座対象	京都八幡高
1/31	日	3、4	個別指導	全講座対象	朱雀高

【レポート提出締切・留意事項】

回	月日	曜	時間	対象レポート	留意事項
一次	12/2	水	21:00	レポート1、2	内容不備→受付不可→未提出扱い 内容不十分→再提出不可
最終	2/3	水	21:00	レポート3、4、5、6	

【連絡事項】

・科目スクーリング時の持ち物 ：教科書、用語集、対象レポート ・教科スクーリングでは他教科の学習はできません。自身が取り組むべきレポートの作成やテスト準備に充ててください。 ・スクーリング義務出席時間の減免の対象となる視聴番組は、各レポートに掲載されている二次元(QR)コードに該当するもののみとします。

【学習の成果に係る評価規準】

	主体的に学習に取り組む態度	知識･技能	思考･判断･表現
A	・年間を通じて、主体的・計画的かつ熱心にレポートに取り組み、前向きな姿勢及び努力が十分に認められる。 ・スクーリングに積極的かつ計画的に出席し、高い学習意欲がみられる。	・レポートの学習過程及びテスト結果により、各科目・単元の目標に沿った、知識・技能が十分に定着し、日常のさまざまな場面で活用することができる。	・レポートの学習過程、テスト結果により、知識・技能を応用して、発展的に思考・判断し、表現することができる。
B	・年間を通じて、主体的にレポートに取り組み、その努力が認められる。 ・スクーリングに計画的に出席することができる。	・レポートの学習過程及びテスト結果により、各科目・単元の目標に沿った、知識・技能がある程度定着し、日常の場面で活用することができる。	・レポートの学習過程、テスト結果により、知識・技能を応用して、思考・判断し、表現することができる。
C	・レポートの取り組みでは、主体性、計画性に課題があり指導を要したが、その努力は認められる。 ・スクーリングの義務出席時間数には到達できたが、計画性には課題がみられた。	・レポートの学習過程及びテスト結果により、各科目・単元の目標に沿った、知識・技能の定着には課題がみられる。	・レポートの学習過程、テスト結果により、知識・技能を応用に課題が見られ、思考・判断し、表現することために は、さらなる努力を要する。

添削課題（レポート）の評価規準

・レポートの評価は５段階とします。 ・レポートの未記入等の不備、誤答が多い場合は評価「１」とし、不合格、再提出とします。 ・レポートの未記入部分が多いなど、著しく不備な場合は、受付抹消、再提出とします。

考査（テスト）の評価規準

・３０点未満は再考査とします。

面接指導（スクーリング）

・５分以上の遅刻・早退は出席になりません。 ・義務出席時間以上に出席することも可能です。